

「とにかくプラスなことを考えて乗り切った受験勉強」

中学受験

5年から塾に通いはじめ、偏差値や学習方法がいろいろと終わってる自分が6年で本気を出し、偏差値をグーンと上げた方法！

5年の時は、中学受験というより受験そもそもの意味、そして受験の厳しさも分からず授業に関しては、周りについていくのが精一杯で、この時はめちゃくちゃ大変でした。ですが、こんな自分を本気にさせてくれたのは、「周りの影響」、「競争心」が芽生えてきたからだと考えます。「周りの影響」とは、どのような人を指すかということ、先生達などです。よく先生達は「受験の大切さ、厳しさ」などを、授業中によく話してくれたりしました。この話のおかげで、受験に対する思いが少しガチになったのですが、一番自分に影響を与えてくれた人は、自分より学力が上の人＝自分が「勝ちたいと思った、憧れた人」だと思っています。自分より数えきれないほど先に進み、合格への道を切りひらいてる姿を見て、カッコイイと感じ、自分もその人に近づけるように超えられるようにと思ったため、自分はガチになれました。そこから6年の最初から、夏期が始まるまで、中学受験で一番学力の差が開くといわれている算数の特訓をするため、5年の授業で使った算数の教科書を、「いったん全部解く→まちがえた問題に印をつける→まちがえた問題をもう一回解く→もう一回解いてもわからなかったら、わかるまで解く（解説を読んだりして）」というようにして、復習をしていました。そのおかげで、夏期の算数は、「前やった問題だ～～！」とか、「ちょっとわすれてるばいからもう一回復習しよ～～」という風に勉強できました。そこで、「復習の大切さ」を学べました。そして夏期のメンタル面の話に移ります。自分は、結構目標を高くして、そこへ向かって進んでいく派で、そのため、志望校も当然まあ偏差値も高いところを選びました。でこれが本当によかったと思っています。理由は、高いところだと、自分の手が届かず落ちることも全然考えられるのですが、でも高いからこそ絶対合格したい、という気持ちになり勉強もモチベーションが上がりました。ですが、こんなプラスな話だけではなく、マイナスな気持ちにもなったりしました。で、このマイナスな気持ちを乗り越えた方法は、「合格したらやりたいことを思いだす。」や、「箇条書きで未来の自分がこうなっても、元気が出せるようにノートに未来の自分へプラスなことを書く。」など、プラスなことをして乗り越えてました。（とにかくプラスなことをしたら効果はあると思います。）そして、めちゃくちゃ話を変えますが、入試の前にやっていたことを話して終わりにしたいと思います。まず、昔の自分と今の自分を比べて絶対成長しているところがあると思うのでその成長を入試で自分の武器に変えて「絶対大丈夫」と唱えたり、こっだけ頑張ったんだと、「絶対いける。」ととにかくプラスなことを考えまくった方がいいと思います。あと、緊張してる自分を違う視点から見て楽しんだり、中学受験だけで人生終わんないし、この中学受験で学んだことを、高校受験とか、大学受験でも生かせるし～、みたいな気持ちで臨みました。あと、これは絶対やることで、その学校に入学するチケットを絶対に、手に入れるぞーと思って入試にいどみました。

これで、2年間の思い出話は終わります。

これから中学受験をする受験生へ

とにかく第一志望に合格して楽しい日々をおくっちゃいましょう！頑張ってください！

T教室 Aさんご本人

「友達の姿をお手本に乗り切った受験勉強」

中学受験

私は特に算数が苦手で、テストや授業のときにまちがいをくり返してしまい、それが直らなかったため、入塾することを決めました。

私は勉強しているときにちがうことをしてしまって、全く宿題などが進まない時期がありました。しかし、塾でみんながしっかりと勉強している姿を見て自分も頑張らなければと思い、40分間勉強して5分間休むという独特ルーティンを休みの日にしていました。普段は、日能研もいっていたため、家では1時間ほどしか勉強できず、そのときは基礎的な問題の確認をしていました。また、苦手な分野とその理由をふせんにメモしてスキマ時間にその分野の問題を復習することをくりかえし、テストやユリウスのとき完全にまちがえなくなったら印をつけて入試直前にもう一度解けるか確認していました。入試が近づいてきたときに行ったことは『入試のときに気をつけること』という題名でノートに本番気をつけることを箇条書きで書いて当日も見返しました。

入試は自分で勉強法などを考えるという楽しさもあったので自分の中では良い経験だったと感じています。指導して下さった全ての先生、今までありがとうございました。

O教室 Tさんご本人

「最後まであきらめない気持ちで乗り切った受験勉強」

中学受験

私は6年の10月にユリウスに入塾しました。ユリウスは授業中、問題演習中にわからなかったことをわかるまで教えてくれたり、たくさんの類題を用意してくれます。私はユリウスのおかげで、わかっているつもりでも実はわかっていなかったという事に気づくことができました。

受験勉強のポイントは ①日能研に通っている場合先生の話はしっかり聞く ②わからない問題は絶対にわかるようにする ③基礎は早めに身につけてたくさん問題演習を行う です。

入試では、絶対に最後まであきらめず、全力をつくしてください。あきらめなければ、少しでも正解に近づくことができるはずです。また、前の科目や合否のことは一切考えず、とにかく今解いているものに集中してください。そしてユリウスの担当指導者の皆様、最後の最後までサポートありがとうございました。とても楽しかったです。

T教室 Tさんご本人

「絶対合格するから大丈夫、と乗り切った受験勉強」

中学受験

ぼくは5年生の前期から日能研に入りました。入ったばかりの頃は、授業で先生が何を言っているのかよく理解できず、テストでも空らんばかりでした。だからユリウスに入って少しでも成績を上げようと思いました。ユリウスの先生たちはすごくわかりやすく教えてくれて、気づくと一番苦手だった算数が一番できるようになっていました。また、先生が大学の勉強のことなどを教えてくれることもあり、今まで夢がなかったぼくにもやってみみたいことができました。

ぼくの第1志望校は自分の偏差値よりもずっと高いチャレンジ校でしたが絶対に行きたい学校だったので、合格発表の時まで「絶対合格するから大丈夫」とずっとあきらめずにいました。勉強では授業のない日も自習室に行きわからないことは必ず先生に質問したり、算数で点がとれるように、志望校の過去問以外の類題もたくさん解きました。算数ばかりやりすぎてしまい他の科目の暗記にあまり手をつけられなかったのもっとバランスよくやればよかったなあと思います。

これから受験をするみなさんは、バランスよく勉強をして後悔のないように最後まであきらめずに頑張ってください。

K 教室 E さんご本人

「自分を信じて乗り切った受験勉強」

中学受験

4年生の秋頃、国語の得点の仕方がわからなくなり、ユリウスに入塾しました。今では国語が得意科目になりました。

私は、算数で、比や場合の数に、とても苦戦していました。ですが、ユリウスで先生に教わったり、自分で問題を解いたりしているうちに、コツをつかみ、解くことができるようになりました。

算数では、6年夏期テキストにある□428をただひたすらやっていました。間違いがなくなるまで何度も何度もくり返し、その上で苦手な単元を解いていました！

私が第一志望校を雙葉中学校と決めたのは、5年後期頃でした。志望理由のひとつは、制服が可愛いのが大きかったですが、先ばい方にあこがれたのも一つです。

入試をして、「自分で努力する」という経験ができました。これから受験する人に伝えたいことは、「自分を信じて」です。自分を信じないと、入試本番、不必要なきん張をしてしまいます。がんばれ！

ユリウスの担当の先生、4年生から今まで、見てくれてありがとうございました。おかげで合格できました。ありがとう！

S 教室 K さんご本人

「メンタルをコントロールして乗り切った受験勉強」

高校受験

ユリウスには定期テスト対策、高校受験対策をして入塾しました。生活面では冬期講習が始まった時期から夜は必ず11時半に就寝することを心がけました。学習面では苦手意識のある数学に力を入れ、冬期講習で担当の先生とたくさん演習したことで入塾前には手の動かなかった単元も分かる問題が増えました。効果があった勉強法は塾のコマがあった日に必ず夜に解き直しをし、また次の日に復習することや電車通学時間などのすき間時間に英単語を覚えたり、数学の公式集を見たことです。

志望校を決めた時期は9月頃で理由は学校の雰囲気が良かったことや個別相談会で親身にお話しして下さる先生方が多かったことです。入試が近づいてきた時の心境はあせりがありましたが上手くメンタルコントロールをすること、体調管理を徹底しました。当日の心構えは絶対に受かるという気持ちを強く持つこと、周りを気にしないように心がけました。入試を通じて1つの問題に対して真摯に取り組み、「わからない」を減らすことが大切だと学びました。早めに受験校の入試要項を確認し、英検など入試に活用できないことがないのか探してみるのも合格をつかむカギになると思います。過去問演習では分からなかった、間違えた問題があった際に必ず何が違うのかを明確にすることが大切です。前日の夜は早く寝て、入試本番でいつも以上の力が出せ、合格できるよう頑張ってください。

I 教室 H さんご本人